

～ときを越え
受け継がれるもの～

平和ミュージアム

旧日本陸海軍博物館

Ⅱ 江刺区岩谷堂字向山 Ⅱ

藤原の郷南口交差点から向山の坂を登った閑静な住宅街の一角に、平和ミュージアム旧日本陸海軍博物館はある。八重樫正博館長が、子どもの頃から集めた軍装品を自宅2階に展示し、陸海軍ミニ博物館を開館したのは昭和63年のこと。「本物を見て平和について考えてほしい」という思いから、地元高校や文化施設の催しなどにも協力している。

同館や展示会などに訪れた人からの寄贈が年々増え、自宅での保管・展示が難しくなったことから、平成18年、自宅向かいに現在の博物館を新築。現在、保管する資料は約2万5千点にも及ぶ。

第二次世界大戦終戦70周年を迎えることし、8月14、15日に仙台市の青葉城本丸会館で開催される「終戦70周年記念特別展」への出展を予定している。

戦争を知る世代が年々少なくなる中、同館の展示品は、歴史の証人としてこれからも戦争の悲惨さを語り継いでいく。

※見学時の写真撮影は不可

広告



❶展示品はほとんどが本物。館長自ら洗浄・燻蒸・補修・保護作業を施す ❷寄贈された赤トンボ（九三式陸上中間練習機）のプロペラ ❸八重樫館長が収集を始めるきっかけになった布製の弾薬盒。当時学生だった館長の父が訓練で使用したもの ❹看板が博物館の目印

